

平成30年度学校評価の報告（概要版）

学校教育法等に規定される学校評価を実施したので、当校の学校評価の方針（平成30年3月）に従い、自己評価、自己点検、個別行事総括の概要を公表します。

<自己評価>

学校評価自己評価表(評価項目の達成状況)

項目	評価者数	評価分布(割合)			
		達成	取組中	不十分	無回答
1 教育理念・目的・目標	48	79%	19%	2%	
2 カリキュラム	72	92%	8%		
3 授業課程	99	85%	14%	1%	
4 実習指導体制	108	87%	12%	1%	
5 学校組織・運営	206	69%	30%	1%	
6 教育環境	96	88%	10%	1%	1%
7 学修・進路	36	83%	17%		
8 学生生活への支援	60	88%	7%	2%	3%
9 地域との連携	24	29%	58%	8%	4%
合計	749	80%	18%	2%	1%

学校評価自己評価表(評価項目の適否)

項目	評価者数	評価分布(割合)		
		適	否	無回答
1 教育理念・目的・目標	48	98%		2%
2 カリキュラム	72	100%		
3 授業課程	99	99%	1%	
4 実習指導体制	108	100%		
5 学校組織・運営	206	99%		1%
6 教育環境	96	99%		1%
7 学修・進路	36	100%		
8 学生生活への支援	60	95%	2%	4%
9 地域との連携	24	88%	8%	5%
合計	749	99%	1%	1%

2) 主な評価の結果

・コメント数

38件

項目	評価	コメント
5 学校組織・運営	達成	入学者の学習力等を鑑みると、120名定員はきびしいのが本音
5 学校組織・運営	達成	広報活動は定着してきつつある
3 授業課程	取組中	ロッカーせまい。着替えに時間かかる。
3 授業課程	取組中	学生からの評価の提出等が50%以下の項目があり、提出の協力が得られる工夫が必要
5 学校組織・運営	取組中	時間外労働はほとんどないが、自宅へ持ち帰って授業準備をしている。
5 学校組織・運営	取組中	電子文書の管理基準がなく、管理・保管・廃棄が適切でない部分がある。
5 学校組織・運営	取組中	有給休暇取得率など可視化できるものは整備されているが、ストレス対策はこれからもカウンセリング機能とあわせて要継続
6 教育環境	取組中	PC内のデータに個人情報がある。対策必要。
7 学修・進路	取組中	”大学に行きたい”という子に対して情報提供が全くできなかった。本気かどうかはさておき、何らかのアドバイスができるとよい。

- ・うち、不十分又は否と評価されたコメント数 10件

1 教育理念・目的・目標	不十分	学生のニーズの調査と評価が十分でないと感じる。
9 地域との連携	不十分	もっと連携を強化し、地域に出てゆくことが大切。知名度を高める。

- ・評価表の評価項目以外に、解決すべき課題、検討すべき課題とされたコメント

ECOに対する取り組みの評価項目(CO2、電気、水道、リサイクル、ECOマークの作業服推進等)

<自己点検>

看護師養成所(2年課程) 自己点検表

点検項目	項目数	判定(割合)		
		適	否	該当なし
1 学生に関する事項	11	82%	9%	9%
2 施設設備等に関する事項	108	95%		5%
3 教員等に関する事項	22	91%	5%	5%
4 教育に関する事項	16	94%	6%	
5 実習に関する事項	31	97%	3%	
6 変更承認及びその他事項	3	67%	33%	
7 その他	8	100%		
合計	199	94%	3%	4%

- ・否と判定した点検項目の判定理由及び改善

1 学生に関する事項	社会人入試は、2年課程であり配慮しておらず。
3 教員等に関する事項	実習指導教員は確保していない。専任教員の臨地実習指導時間は規定時間内で実施できている。
4 教育に関する事項	小児看護学実習と在宅看護論実習はそれぞれ2.5時間、6.5時間の学内実習を設けている。同じ学習内容を複数施設でわかれて行うため、全学生での学びの共有の場としている。
5 実習に関する事項	病院以外の実習が全体の33.5%を占めるのは、母性看護学実習1.94単位が含まれていることが主な要因である。実習環境としては、病院実習に準じて行っているが、病院実習時間を増やすよう検討を続ける。
6 変更承認及びその他事項	校舎の配置図および平面図の変更がされていない箇所があった。遅延理由を添え、直ちに変更申請した。

<個別行事総括>

総括を作成した個別行事

行事名	期日	報告(会議の名称)
(1) 就職説明会	平成30年4月19日	5月職員会議
(2) オープンキャンパス	平成30年7月28日	9月職員会議
(3) 防災訓練	平成30年10月10日	11月職員会議
(4) 入学試験	平成30年11月21日 ～平成31年2月27日	第7回入学試験委員会

〈課題の解決〉

評価項目で「不十分」「否」、個別行事総括で「問題点・課題」とした事項は、学校評価委員会で重要な課題とそれ以外の課題に区分して、組織的に処理する。

(1) 重要な課題

重要な課題ごとに、課題シートを起票し、課題解決の方法、日程、期限、担当者を明示する。

(2) 重要な課題以外の課題

重要な課題以外の課題を整理し、教職員に示す。

個別行事の総括結果は、平成31年度の行事企画に反映させる。

(3) 課題解決の検証

重要な課題の解決状況は、必要に応じて中間評価し、最終的に課題ごとに設定した期限到来時に検証する。

重要な課題以外の課題の解決状況は、次に到来する自己評価、自己点検、個別行事総括で検証する。